

Title	女性エンジニアの活性にむけて
Author(s)	土屋, 秀雄
Citation	年次学術大会講演要旨集, 23: 1056-1057
Issue Date	2008-10-12
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/7745
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	一般講演要旨

女性エンジニアの活性にむけて

○土屋 秀雄(PE コンサルティング)

近年 女性のエンジニアリング分野への進出はめざましく大学関係学科別学部学生数において工学部 (Engineering) 総数 (単位千人) 426、内男子 381、女子 45 (10.6%。平成 18 年度) と女子が平成 12 年度以降 10%を継続して超え、大学院においても修士課程 10.4%、博士課程 12.1% (平成 18 年度) となっている (総務省統計局 ; 日本統計年鑑)。

エンジニアリングは近代、現代工業技術の基本であり、ヨーロッパ、米国など近代工業化はエンジニアリングの発展とともに発達してきたといえる。資源の少ない我が国がものづくり日本を技術立国、人材立国として維持していこうとするのは当然であり、この中核の一つとしてエンジニアリングをいかに発展させていくか、とくにまだ活躍の環境が十分と思えない女性エンジニアがいかに生き生きと能力を発揮できる状況とするかは今後の重要なポイントである。

エンジニアリングは自然・科学現象や社会・経済環境に適応、ときには対峙するだけに広範な知識と経験の必要な分野である。また決定が社会に与える影響が大きいためしっかりした倫理 (人々の生命の安全、健康、財産を守る) を修得しておく必要がある。

エンジニアが他分野の人たちと待遇面で同格にされる日本であるが他国たとえばアメリカでは次のようなインセンティブをはっきりと設けている。

注目すべきは engineering の初任給の高さである。

大学卒業時の初任給として

Chemical engineering	\$54,256
Computer engineering	\$51,496
Accounting	\$43,809
Economic/finance	\$42,802
Marketing	\$37,832
Liberal arts	\$30,337

(What's a degree worth? Starting salaries for 2005. 2008. 8. 2. CNN Money.com)

2008年8月に面談した米国ワシントン大学 Dr. Suzanne Brainard 教授によると同大学の女子学生の割合は大略以下のようである。

Chemical engineering	40%
Biological engineering	50%
Industrial engineering	50%

Dr. Brainard は女性エンジニアがいかにその能力を発揮し続けていくか、またその環境をつくっていくか、そしてまとまっていけるかが課題としている。

エンジニア育成は能力だけでなく経験、考え方をしっかり身につける必要があることから優秀なエンジニア育成のためには5年以上の長期を要する。今後エンジニアリング分野を学ぶ女子学生の割合が増えることが予想されることから女性エンジニアにたいしどのように能力発揮の環境を整えられるかグローバル化が進む中で喫緊の課題である。

世界では欧米のみならずアフリカ、アジア諸国（特に中国、韓国）では施策として取り上げられ世界大会も開かれている。

日本としてしっかりした基本理念のもとに国家的戦略を立案して実行しつつ世界に発信していく必要がある。